



iSiD

IT Solution Innovator

株式会社電通国際情報サービス

電通と米国のGeneral Electric Company (GE)との合併で設立。電通グループのITソリューション事業を手掛ける他、クラウドやソーシャルメディアの活用などのソリューションを展開。

本社：東京都港区港南2-17-1
 設立：1975年12月11日
 資本金：81億8,050万円
 従業員数：2,559名（2015年12月末現在）
 URL：http://www.isid.co.jp/

（取材日：2016年2月）

POINT

講師自らが作成した
オリジナルテキスト

具体的かつ実践的な
カリキュラム

柔軟なカスタマイズ

実践的な研修内容と後から使いやすい テキストが決め手。国内唯一のオリジナル Oracle研修を採用

技術者育成において「実務で活用できる」研修を採用することは非常に重要です。利用者の立場に立った実践的な研修内容やテキストであれば、短期間で現場で活躍できる技術者育成が可能。電通国際情報サービス（以下、ISID）では、それができるアシストOracle研修を採用し、実務に強い技術者育成に取り組んでいます。

採用の背景

- ISIDの社内研修としてOracle研修を検討
- アシスト営業による案内で、アシストが国内で唯一、オリジナルテキストを使用したOracle研修を開催していることを知る
- 研修の採用条件として、内容やテキストの完成度だけでなく、カスタマイズの自由度が高いことも重要視

採用の理由

- オラクル社認定研修の場合は認定テキストを使用するため、研修会社の特性が表れにくい。アシストはオリジナルテキスト使用が魅力
- 認定テキストに比べ、より利用者の立場に立った実践的な内容
- 日数調整や解説項目の追加／削除など、柔軟なカスタマイズが可能

採用後の評価

- 研修内容は具体的かつ実践的で、すぐ業務で活用できそうと高い評価
- テキストはポイントが整理され、かつ利用者視点の噛み砕いた表現で書かれ、受講後にはリファレンスとして使いやすい
- テキストの評価は、どの実施回においても、大変高い

2009年にOracleアーキテクチャと運用管理のスキルを習得できる「データベース管理基礎」研修をスタート。その後、研修内容のブラッシュアップを続けながら、体系的なスキル習得を目的として複数の研修を導入。2014年からは4研修を実施。各研修とも、研修前後に理解度テストを実施し、効果を測定。

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
データベース管理基礎	■	■	■	■	■	■	■
データベース・アーキテクチャ	■	■	■	■	■	■	■
データベース・マネジメント	■	■	■	■	■	■	■
SQLパフォーマンス・チューニング	■	■	■	■	■	■	■
SQL応用	■	■	■	■	■	■	■



Oracle研修

初のプロダクト特化研修の導入

電通国際情報サービス（以下、ISID）は、電通と米国のGeneral Electric Company（GE）との合併で1975年に設立されました。同社はシステムインテグレーターとして、クラウドやソーシャルメディアの活用、グローバル展開などの経営課題に対して、最適なソリューションを提供し続けています。また、電通グループのITソリューション事業の一翼を担い、その基盤となるマーケティング・プラットフォームの提供や測位、センシングなどの先端技術を実装した様々なサービス開発にも取り組んでいます。

このような優れたサービスを提供し続けるためには人材開発が必要不可欠です。この役割を担っているのが同社の管理本部 人事部 教育グループで、研修の立案／実施を担当しています。管理本部 人事部長 関島勝巳氏は、次のように語ります。

関島氏 当社では、以前より業務スキルとヒューマンスキルの習得において体系立てて研修を実施してきました。業務スキルに関しては、プロダクトに特化した研修ではなく、汎用的な内容が中心でした。全社教育という立場から言うと、習得できるスキルが限定されてしまうことや、特定のプロジェクトだけ支援することは避けたいということがその理由です。



関島勝巳氏

一方で、新人研修などで汎用性のあるスキルをしっかりと身につけても、年次が上がったり、担当するプロジェクトによってはより専門的かつ実践的な知識が求められるケースが多くなってきます。

関島氏 データベースに関して言うと、Oracle製品は当社でも広く利用しているため、実践で役立つ研修の必要性を感じていました。そこで、実際に必要としている社員を対象とした公募制でのOracle研修実施について検討を開始したのです。

決め手は日本で唯一のオリジナル研修

ちょうどその折、アシストの営業からOracle研修を紹介され、その後、アシストの研修講師からテキスト見本やカリキュラムの提示を受けました。その完成度の高さに驚き、アシストが提供するOracle研修の導入を決定しました。初のプロダクトに特化した研修を導入した背景には、オラクル社認定ではない、アシストオリジナルのテキストやカリキュラムであったことがポイントだったと同グループ プロジェクトディレクター 長谷川恭輔氏は語ります。

長谷川氏 通常、Oracle研修という認定テキストを使用するため、研修会社に依る大きな差はありません。その点、アシストのOracle研修は日本で唯一のオリジナルテキストで、認定テキストに比べて利用者の立場に立った実践的で噛み



長谷川恭輔氏

砕いた内容になっていると感じました。資格取得には認定研修の方が良いかも知れませんが、現場の社員にとってはこういった実践的な内容の方が良いのではないかと思ったわけです。

また、研修内容を柔軟にカスタマイズできるのも決め手の1つでした。例えば、Oracleのプログラミング言語であるPL/SQLの基礎知識を習得してもらうために、要点を1時間程度にまとめて関連のある研修に組み込んでもらいました。組み合わせる研修も年によって変更し、最適な組み合わせを検討してもらいました。また、最近ですと、PostgreSQLやMySQLなどのオープンソース・データベースを使った案件も増えてきているので、Oracleを軸にしながらも汎用的な内容で実施したり、他のデータベースにも言及したりしながら進めるようにお願いしました。

もちろん、価格面も決め手になったことは確かですね。

実践的な内容とオリジナルテキストを高評価

2009年に1コースでスタートしたOracle研修は、2015年には4コースまで増えています。「正直、最初は様子見で始めた」そうですが、受講者からのアンケート結果について同グループの溝上周太氏は次のように語ります。

溝上氏 アンケートで最も多かったのは、他の研修と比較して研修内容が具体的かつ実践的というものです。プロダクト特化という性質はあるにせよ、テキストの評価が非常に高く、リファレンスとしてマニュアルや市販本よりも格段に役立つ、受講した内容をすぐに業務で活用できそうという声が多く出ていました。プロダクト特化の研修の場合、こうした「受講後も使いやすい」という点は非常に重要だと思っています。



溝上周太氏

長谷川氏 我々はシステムインテグレーターですので、色々な要素を組み合わせお客様に最適なシステムを提供することが仕事です。ある分野は何も知らないというのは戦力として弱い人材になってしまいます。アシストには、年度ごとにレビュー会を開いてもらい、これまでの研修の傾向や戦力アップのために伸ばした方が良いと思われるスキルなどを色々と報告してもらっています。そんな流れの中でバランスのとれた人材を育成するため、年々新しいOracle研修を導入してきました。

現状に満足も、今後時代や状況に合わせて内容を都度検討

Oracle研修の現在と今後について、関島氏は次のように語ります。

関島氏 現在、年度内で4コースを実施していますが、コース体系としてはちょうど良いと思っています。どのコースも内容はしっかりしていますし、オリジナルのテキストにももちろん満足しています。テキストの評価は他社の研修と比べても間違いなく一番です。特に、受講後も使いやすいという点を高く評価しています。

今の所、現在の体系で問題ないと思いますが、後はデータベース業界の潮流に合わせて都度変更していかなくてはいけないと思っています。こういった点はアシストにアドバイスを貰いながら最適な実施形態を検討していきたいですね。

お問い合わせは **株式会社アシスト**URL: <http://www.ashisuto.co.jp/ojt/> E-Mail: educ@ashisuto.co.jp

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL:03-5276-5882	大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL:06-6373-7113
札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル13F	TEL:011-281-1161	広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL:050-3816-0974
仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL:050-3816-0970	福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九軌筑紫通ビル 9F	TEL:092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL:052-232-8211	沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL:050-3816-0976
金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F	TEL:050-3816-0972		

※本事例は取材時の内容に基づくものです。 ※製品内容は、予告なく変更される場合があります。

※OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。